復興を歩む vol.35

閉所式が、川俣町の仮設保育所で行われ 3月24日、やまゆり保育所の修了式と

美子所長から、修了証書を受け取りま 2歳児、合わせて9人全員が、中井田多 た」と感謝を込めてあいさつしました。 も達の成長を喜ぶことができて幸せでし け、「保護者の皆様とお話しながら、子ど 出がいっぱいです」と子ども達に語りか 平成13年度に開所した村立の保育所 式では、閉所に伴い、 田所長は、「楽しかったね。思 0歳児から

運営してきました。 度からは社会福祉法人いいたて福祉会が が、16年度に認可保育施設となり、20年 震災時に通っていた乳幼児は53人。昼

務する保護者の要望を受けて保育を再 ました。翌月の4月5日には、村内で勤 練を生かして駐車場へと避難。近隣の住寝の時間の発災でしたが、毎月の避難訓 難までの日々を乗り越えました。 開。安全確保に最大の注意をはらい、避 に全員を保護者に引き渡すことができ 民や事業所にも助けられながら、無事

日。急ごしらえの保育施設の環境を一つひ避難したのはさらに1か月半後の5月23 びを豊かにしようと工夫を重ねました。 とつ改善しながら、親子の日 びも室内で。制限のある中でも遊びや学 した。外遊びができなかった当初は、 常を守りま 水遊

の真愛さんと修了証書を受け取りま もらってきました」。修了児9人のうち8 た。「子どもは4人ともやまゆり保育所 藤由利子さん(大久保・外内)は、2歳児 育所にありました。村内に勤務する齋 かけがえのない成長の日々は、この仮設保 人が、村立のこども園に通います。 朝早くから夕方遅くまで、ていねいに 閉所式では、保護者を代表して、志賀 優しい先生方に、私も相談にのって

保育所が閉所するのはさびしいことです ていきたいと思います」。 で、未来あるいいたてっ子を見守り応援し が、4月からは認定こども園となり、村 者は安心して仕事をすることができま 保育をしていただき、おかげで私達保護 戻ってきます。私達保護者、そして地域 信幸さん(飯樋町)があいさつしました。 に7年ぶりに子ども達のにぎやかな声が した。思い出のいっぱいつまったやまゆり

笑顔が巣立ったやまゆり保育所は、17年 そして3月31日、開所以来169人の

> た一人ひとりに寄り添う家庭的な保育は、新しい こども園に引き継がれていきます。

